

若手技術員の現場指導力向上に向けた研修会を開催
(土壌管理及び生理障害診断対応研修7/5、先進事例調査11/15)

若手技術員を中心に、現場指導力を高めることを目的とした研修会を、本年度2回実施しました。

1回目は「土壌管理及び生理障害診断対応研修会」です。当上益城は、山間部から平坦部まであり、多種多様な品目が作られており、原因不明の生育障害等が発生しています。しかし、病害虫か生理障害かを的確に見極めることは難しいため、①土壌肥料の基礎知識、②現地ほ場での指導のヒント、③生理障害の実例、について上益城農業普及・振興課の担当を講師として学習しました。2回目は、水田裏作や冬場の畑地活用の研修として、「露地野菜生産拡大対策事業現地検討会」(11月15日:球磨地域ブロック一現地と屋内検討(全国の露地野菜の情報提供))に参加しました。

2回の研修参加者からは「品目別にも実施してほしい」「年に数回やって欲しい」「地域にない品目についても機械化体系や販売情報を知ることができ、視野が広がりよかった」などの意見が聞かれました。今後も上益城地域の野菜振興に役立つ研修を実施していきます。

